



りああん

第3号



目次

あいさつ…………… 2
部門紹介…………… 3

ふたばのあゆみ…………… 4

院長あいさつ

DMAT訓練を通じて

福島県ふたば医療センター附属病院 病院長 谷川 攻一



2021年10月30日、大規模な地震による災害を想定して全国的な医療活動訓練が行われました。東日本大震災から10年が経過し、私たちが何を学んだのか、今一度振り返ることを目的として、東日本大震災と同じ規模の災害が発生し、原子力発電所事故も複合するという想定で行われました。新型コロナウイルス感染対応のため、災害医療派遣チーム（“DMAT”と呼ばれています）の実動訓練は縮小されましたが、そうした制約の中でも福島県が中心となり活発な訓練が行われました。

被災地の医療機関となるふたば医療センター附属病院には全国から多くのDMATと訓練関係者が集まりました。DMATは救急車で搬送される負傷者に対して救命処置や放射性物質の除染などの活動を行いました。新型コロナウイルス感染対策を行いながらの訓練という新たな試みでしたが、とても有意義なものでした。ふたば医療センター附属病院は原子力災害医療協力機関としての指定を受けており、

私たち病院スタッフにとっても、次なる大災害に備える上で貴重な機会となりました。

東日本大震災で家族を亡くされた方、家を失われた方は何年経とうともその記憶、思いは色褪せることはありません。一方、震災を経験していない若い世代が新たな社会の担い手として活躍する時代が幕を開けようとしています。こうした訓練や様々な機会をとらえて、私たちの経験を次の世代へ繋いでゆく必要性を感じました。

さて、今年4月で当院は開設5年目を迎えます。最近はや々な病気を抱える方や90歳を超える救急患者さんが増えてきています。日ごろの療養や病気の悪化予防がとても重要です。そこで当院では訪問看護、リハビリテーションにも力を注いでいます。また、新型コロナウイルス感染対応のため縮小していた出前講座も再開しています。皆さんの健康の維持とセーフティーネットとしてお役に立てれば幸いです。
2022年2月

看護部長あいさつ

地域の皆さんへ

福島県ふたば医療センター附属病院 看護部長 梅宮 照子



ふたば医療センター附属病院の看護部長として、令和3年4月より勤務しています。浜通りは、温暖な気候でとても過ごしやすく、特に冬に積雪がないため会津出身の私には「毎日が春」のように感じられ、休日はドライブを楽しんでいます。お気に入り、富岡町地域おこし協力隊の方による動画でも紹介されていますが、JR常磐線の線路をまたぐ「汐橋（うしおばし）」を渡り太平洋を一望できる町道です。晴れた日は、汐橋を走り少し遠回りして通勤しています。新たな施設や道路が相次いで完成し、一步一步復興が進んでいることを実感しています。

当院は、「住民が安心して帰還し生活できる」「双葉地域で安心して働ける」そして「企業が安心して進出できる」この「3つの安心」を医療の面から支えることを目指しています。

救急から在宅まで切れ目なく医療が提供できるよう、多職種で話し合いをして、治療や看護の方針が決められています。医療職の中でも看護師は、患者さんに一番近い存在だと思っています。患者さんやご家族の思いに寄り添って温かな配慮ができるような看護をしたいと思っています。退院後に不安のある方や在宅で治療を継続したい方等に訪問看護をしています。また、地域の皆さんが健康で元気に暮らせるように出前講座を行っています。出前講座は、高齢者の方に限らず企業や学校、子供会等でも出向いていきますのでご相談ください。

私たちの活動において、皆さんの率直な声をお聞かせいただければ、真摯に向き合っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

検査部門

当院の検査部門では、血液検査、生化学・免疫検査、細菌・ウイルス検査等を行っています。

血液検査は、血液中にある赤血球、白血球、血小板、ヘモグロビン濃度などを全自動血球分析装置で測定しています。

生化学・免疫検査は、採血した血液から遠心機を用い分離させた血清成分を使用して検査をします。肝機能 (AST、ALT、 γ -GTP)、腎機能 (尿素窒素、クレアチニン)、脂質 (HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪)、血糖、HbA1c、B 型肝炎や C 型肝炎、HIV、梅毒などの感染の有無を調べています。

細菌・ウイルス検査は、尿中肺炎球菌・レジオネラ抗原、溶連菌抗原、マイコプラズマ抗原、インフルエンザウイルス等の検査を行っています。また、新型コロナウイルス抗原と PCR 検査も行っています。

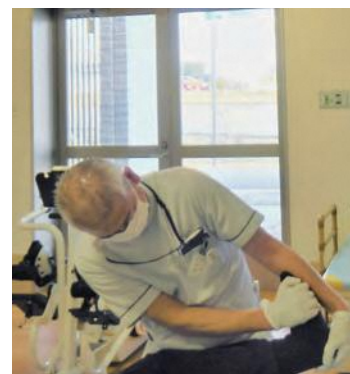
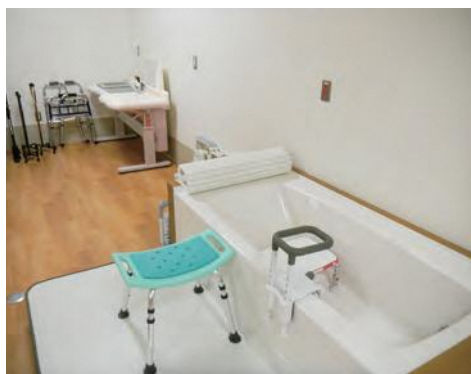
正確な検査結果を迅速に報告することにより患者さんの負担となる待ち時間の短縮に繋がるように日々努めています。今後も迅速に検査結果を報告し、患者さんが適切な診療を受けられるよう精一杯邁進してまいります。



リハビリテーション部門

当院のリハビリテーション部門は、理学療法士・作業療法士の2名で、外来・入院・訪問のリハビリテーションを担当しています。

入院では、主に急性期の患者さんが対象となります。高齢者がかかり易い肺炎や尿路感染症のリハビリテーションでは、寝たきりとなることを防ぐため、できるだけ早い段階で離床に努め、最善のサービスを提供し、家庭復帰・社会復帰のお手伝いをしています。



ふたばのあゆみ



ふたば医療センター附属病院
@futaba_fuzoku

こちらのQRコード
よりTwitterのホーム
画面に飛べます！



公式Twitterではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。
ふたば医療センター附属病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院か知りたい方
などぜひご覧ください！フォローやリツイート、いいねも大歓迎です！

10月6日
防火避難訓練



10月8日
院内感染対策研修



11月21～27日
医療安全推進週間



多目的医療用ヘリ

多目的医療用ヘリとは、県が導入した医療用のヘリコプターです。

公立病院での導入は全国で初めてで、当院では平成30年10月より運行を開始しました。

普段は当院を運行の基地とし、双葉地域の救急現場や浜通りの医療機関を中心に運行しています。

ヘリでの患者搬送は、救急車と比べ搬送時間を短縮することが出来るため、患者さんの移動負担の軽減や早期治療による重傷化防止を図ることが出来ます。

このようにヘリの活用は双葉地域の救急医療の質の向上に大きく貢献しています。



— 今回の表紙 —

10月30日に行われた大規模地震時医療活動訓練の様子です。

DMAT隊員や他団体の方と連携し、実施することができました。

福島県ふたば医療センター附属病院

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡王塚 817-1

電話 0240-23-5090 / FAX 0240-23-5091

ホームページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

